

平成23年度国立大学図書館協会地区協会助成事業報告書(関東甲信越地区)

地区名	関東甲信越地区（主担当大学：総合研究大学院大学・横浜国立大学）
事業名	関東甲信越地区大学図書館職員セミナー 「安心安全な図書館とは—あなたの図書館は安全ですか？」
事業目的・趣旨	<p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災に際し、関東甲信越地区会員館においても地震による建物の損壊、図書の落下等大きな被害が発生した。幸い人的被害は発生しなかったが、これを契機として今後発生が予想されている首都直下地震、南海地震等に対応して、利用者の安全をいかに確保していくべきか再考する必要がある。</p> <p>本セミナーでは、災害に対する安全確保の在り方と具体的方策について講演を行うとともに、災害を含む大学図書館の当面する諸問題についてグループ討議を通して意見交換を行い、今後の大学図書館運営に生かせるよう検討を行う。</p>
実施内容	<p>開催日：平成23年12月5日（月） 13：30～17：15 開催場所：横浜国立大学中央図書館 メディアホール 主催：関東甲信越地区国立大学図書館協会</p> <p>13：30～13：40 開会 13：40～15：00 講演「図書館と災害」 植松貞夫（筑波大学大学院図書館情報メディア系長）</p> <p>15：00～15：30 休憩 15：30～16：30 グループ討議（グループ数 7グループ） テーマ「学習支援」「震災・地震」「電子書籍」「大学図書館の将来像」</p> <p>16：30～16：45 グループ討議発表・講評 16：45～17：15 見学 17：15～19：00 懇親会</p>
事業の成果 （アンケート調査結果、事業への意見・感想等）	<p>参加 27 機関 46 名（内訳：国立大学 16 機関（関東甲信越地区 15 機関，東京地区 1 機関） 34 名，神奈川県内公私立大学 5 機関 5 名，大学共同利用機関 6 機関 7 名）</p> <p><アンケート調査結果> 全体の感想：「大変良かった」 39%，「良かった」 48%，「普通」 13% 良かったもの：「講演」 41%，「グループ討議」 40%，「見学」 19%</p> <p><事業への意見・感想等> 「普段の勤務だけでは知りえない建物や書架の構造等について，講演の内容が大変参考となった。」，「初めて知ったことも多く，今後の対策に生かしていきたい。」，「グループ討議により，他館の方と貴重な情報を交換できて，非常に勉強となった。」等</p>
経費	<p>執行額：107,136 円 内訳：講師旅費及び謝金 43,800 円，会議費 63,336 円</p>